

令和4年度 第3回 学校運営協議会 記録

○日 時 令和5年2月20日(月) 15:30~17:00

○場 所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校運営協議会委員 桃山学院教育大学 教授 長谷川 陽一 様
守口市教育センター 所長 佐々木 幸子 様
守口支援学校 学校医 森口 久子 様
門真公共職業安定所 統括職業指導官 須藤 佳子 様
本校PTA会長 田中 豊子 様
錦地域コミュニティ協議会 会長(欠席) 盛田 昭一 様

事務局 青木校長 池田教頭 古賀教頭 小枝事務長
石田首席 下田首席 田鶴谷小学部主事 南中学部主事
室田高等部主事 各分掌部長

その他 寺村養護教諭 計 22名

○内 容

1 学校長挨拶

12月以降の活動を進めてきたが新型コロナウイルス感染に注意しつつ、教育活動もほぼ予定通り実施できた。昨年できなかった作品展も1月末に実施し、三大行事全て実施することができた。

参観週間や一日参観日も多数の保護者に来校していただき、アンケートでいろいろご意見をいただくことができた。

卒業式の準備を進めているが、中高の3年生は、緊急事態宣言のもと休校からスタートして3年間過ごした学年。

新型コロナウイルスが5類へ移行することでマスク着用緩和をはじめ、対応の変化も出てくる。ウィズコロナのもと、これまでで身につけた感染症の対策やルールは継続しながら、児童生徒の状況に合わせて進めていきたい。

2 学校運営協議会会長挨拶(長谷川委員)

卒業式、行事が通常通り行われ、平静を取り戻してきている。先行きも明るくなってきて、子どもと先生の関係性もよりよいものになっていく。

今回はあらかじめ質問やご意見を聞いていただけている。時間短縮に向けて工夫していただいた。ご準備いただいたことに感謝。令和4年度学校経営計画の総括と令和5年度学校経営計画について協議をしたい。よろしくお願いします。

3 令和4年度学校教育自己診断集計結果報告(学校評価委員 下田首席)(別紙参照)

質問項目の変更 別添の下線部の箇所が昨年度から変更した質問項目

今回は、肯定的評価の上位3つ、肯定的評価率が10%以上上昇したもの。学校経営計画に目標指標が設定されている項目、新設した項目の4点について説明。

4 令和4年度学校経営計画の総括と今後の課題について（青木校長）（別紙参照）

別紙計画をもとに、今年度学校経営計画における重点目標に対する自己評価について書面にて報告。

1 キャリア教育 2 教育力向上 3 安心安全 4 地域連携

カラー版の学校案内を同封しているので、参考にしていただければ。

5 令和5年度学校経営計画について（青木校長）（別紙参照）

別紙計画をもとに、「めざす学校像」と「中期的目標」について自己診断、分掌の反省、重点項目、委員のご意見を参考に作成し書面にて提案。提案について全委員より承認された。

6 各学部からの教育活動報告（学部・分掌）写真を提示しながら説明

○修学旅行について（高等部 室田部主事）

○作品展について（高等部 室田部主事）

○学部間交流について（高等部 室田部主事）

○生徒会・委員会活動について（児童生徒指導通学支援部 坂上教諭）

委員様のご意見

- ・先生方がめざされている「協働的な学び」とICT活用を一体的にとらえ、子どもの状況がそれぞれ異なるなか、取り組み内容をそろえるよりも、日々の実践を共有することが効果的だと思う。
- ・社会や生活の大きな変化に伴い、学習の在り方の変容が学校には求められるし、保護者の学習への期待も大きくなってきている。先生方は日々試行錯誤され、研究や実践に努めておられるので、それを保護者にも十分に知ってもらえるような発信ができればいいと思う。
- ・メンタルヘルス研修会を受けて、解決策としてR5年に反映していただきたい。
- ・進路指導部の取り組みについて、前年度に比べて内容が充実しているように感じる。
- ・保護者の多くの方から「先生方のおかげでうちの子は成長した」「できるようになった」と話している。
- ・教育自己診断を受けて防犯防災教育について、コロナ禍でシミュレーションに留まっているところもある。コロナが収まっていく中で、南海トラフ地震が近い将来起こる話もある。実行性のある防災教育をお願いしたい。
- ・教員間の相互理解、支援学校の生命線TT、同僚性が充実していくと教育につながる。子どもたちは教員の言動や関係性などを見ているため、モデルとなるような行動をお願いしたい。
- ・PTA活動は保護者との連携、信頼関係。ダイレクトな保護者との連携、学校として教育集団として働き方改革のなか工夫をしながら取り組んでほしい。